

“ありがとう”心から・ひょうごから

のじぎく兵庫国体開催まであと1ヵ月



- ◆ 9月30日から、のじぎく兵庫国体・第61回国民体育大会がはじまります。加東市ではアーチェリー競技が開催されます。みなさんで全国の選手達を温かく迎えましょう。そして、50年に1度のこの機会、思い出に残る大会にしましょう。また、9月18日に行われる炬火リレーでは、子どもたちが参加し、市内を炬火が通過します。みなさんの大きな声援をお願いします。



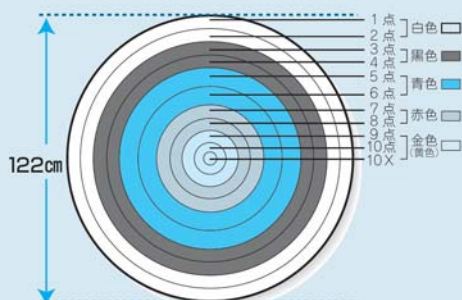
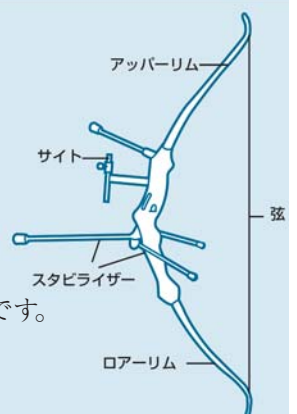
アーチェリーってすごいんです!

アーチェリーの威力は相当なもので、フライパンを的の代わりにすると、あっさり射抜いてしまいます。

当初「夢の超特急」と言われた「ひかり号」は時速210kmで走りました。それと同じくらいの早さです。

○ズバリ命中! 狙う的の中心の直径はなんと4cm!

的の中心にズバリ命中! 観客も、射った本人もスカッとした快感を覚える一瞬です。的の大きさは、長距離用(90m、70m、60m)で直径122cm、10点満点の直径は12.2cmです。さらにインナー10(テン)と言われる中心の中心ともなれば、わずか6.1cm。短距離(50m、30m)用では直径がさらに小さく4cmになります。



10X…インナー10(テン)という。点数は10点ですが多い方が試合などでは有利になります。

○風を読む。もう一つの戦いは自然が相手

アーチェリーは、雷以外のどんな悪天候でも実施される競技です。雨が降ろうと、風が吹こうと精神の集中を極限まで高め黙々と競技を続けます。

このような自然との戦いも見所の一つです。

風を読み、自然を味方につけることが勝負の分かれ目となります。

アーチェリー競技会場となる総合公園多目的グラウンドでは風が勝敗を左右する最大のポイントとなるでしょう。

プロに学ぶアーチェリー



▲NHKの取材風景

七月十三日(木)滝野中学校二年生百二十八人が、料理や菓子作りなど二十講座に分かれて、それぞれプロに教わる体験学習会「滝野の匠」が開かれました。このうち十五人がアーチェリーを体験しました。まず、教室で末口選手から歴史、心構え、体験談などアーチェリーに関する基礎的な指導を受けて、アーチェリー場に移動、実際に弓を手に矢を放ちました。

最初はこわごわ、恐る恐るの女子生徒も真ん中に当てて大喜び、楽しい体験学習となりました。この日、TCCで体験中の生徒六人もそれぞれカメラを肩にアーチェリー場を訪れ、実際に取材しました。たまたま、末口選手の活動を取材中のNHKとともにテレビカメラが並び、にぎやかで楽しい体験教室でした。

国体選手決まる

七月十六日(日)一次、二次選考会を勝ち抜いた選手が参加した最終選考会が神戸市しあわせの村で行われ、兵庫県代表が決まりました。

この日、滝野アーチェリークラブからも五人が出場し、末口広宣(加東市職員)、藤井康史(甲南高校職員)の二人が代表に決定しました。

成年女子チームは国体連覇を九回目の国体出場となる末口選手は、三回目の優勝を目指しています。藤井選手は曾祖父母が加東市出身、本年度全日本社会人選手権大会優勝経験をどこまで発揮できるかが見所です。みんなで応援をしましょう。

大会旗・炬火リレー 9月18日(月・祝)

オリンピックの聖火リレーにあたる行事です。沿道や、中継地で応援してください

中継地	到着	中継地	到着
滝野庁舎・歓迎式	11:31	社庁舎	13:24
下滝野阿弥陀堂	11:53	教育研修所	13:32
上滝野ふれあい館	12:02	東条公民館	13:56
北野コミセン	12:12	東条文化会館	14:10
加東消防署	13:02	東条庁舎	14:21
社小学校	13:13		

～国体の競技を紹介します～

以下の競技が各会場で行われます。熱戦にご期待ください。

☆正式競技



「アーチェリー」

10月7日(土)・8日(日)・9日(月・祝)

滝野総合公園多目的グラウンド

競技は予選ラウンドと決勝ラウンドからなり、それぞれの進め方は右記の要領で行われます。

予選ラウンド
7日

男女70m(6射×6回=36射)×2回=72射(720点満点)

チーム3人の合計得点で上位チームが決勝ラウンドへ進出する

成年男子……ベスト16 成年女子……ベスト16

少年男子……ベスト8 少年女子……ベスト8

決勝ラウンド
8・9日
団体戦

決勝ラウンド進出チームによるトーナメント方式

(予選の上位と下位が対戦する組み合わせ)

70m 2射×3人×4回=24射(240点満点)

個人戦
順位決定

個人表彰式

団体戦
順位決定

表彰式(9日)

☆デモンストレーションスポーツ行事



「フレンドリーアーチェリー」

10月1日(日)

滝野総合公園多目的グラウンド



「ゲートボール」

10月8日(日)

社第三グラウンド

アーチェリーは弓を引き、矢を放ち、より高い得点を得よう的の中心を狙う競技です。

これまで、多くのアーチャー、クラブ、競技団体から支援を受けながらアーチェリーのまちづくりを進めてきました。そうしたアーチェリーを通じた多くの人たちの友情に感謝してフレンドリーと名付けました。ぜひ会場に足を運んで、アーチェリーの競演をお楽しみください。

お年寄りのスポーツと思われるが、実は子どものために生まれたスポーツです。

海外でも盛ん! 日本で生まれたスポーツですが、今では、世界ゲートボール連合に加盟する国や地域が増え国際交流が活発におこなわれています。

健康効果 30分の競技時間に約700歩歩きます。腰痛、肩こりが減った、人間関係が向上した、仲間づくりなどに役立つなどの効果があるといわれます。

若いプレーヤーが増加 全日本選手権大会で優勝した黒田庄チームが平均年齢22歳。小学校での取り組みも増え全国ジュニア大会も開催されています。



「少年野球」

9月30日(土)・10月1日(日)・7日(土)

東条グラウンド・社第二グラウンド
・グリーンヒルスタジアム・播磨中央公園野球場

正式には、少年少女スポーツ軟式野球です。

兵庫県内の小学生チームが参加し、日頃の練習の成果を大いに発揮するとともに、お互いの交友を深める場となります。子どもたちの元気あふれるすばらしいプレーに声援を送りましょう。塁間やピッチャーズプレートからホームベースまでの距離を除けば、ルールは一般の軟式野球と変わりませんが、ボールは軟式野球C号ボールを使用し、ピッチャーは変化球を投げることはできません。